

それが仕事への反省ややる気につながり、将来への夢を育ててくれる。

全体の主語「それが」が、「仕事への反省につながる」「やる気につながる」「将来への夢を育ててくれる」の 3 つの部分につながっています。

が、よく考えてみると、「仕事への反省につながる」、「やる気につながる」、「将来への夢を育ててくれる」自体、なかなか英語にするのが難しそうな感じがします。

こういった時に使えるのが、**一つの出来事・状態で表されているものを二つの出来事・状態に分ける**という技術です。それぞれ、1 文の中に含まれるイメージを膨らませて、文の中心である述語になりそうな、2 つの出来事を探して、接続詞などでつないでいきます。

ちなみに、「それが」は、いくつか捉え方があると思いますが、「一人で時間をうまく使うことが」という解釈で進めていきます。

さて、はじめの組みの「それが仕事への反省につながる」です。この中では、**【一人で時間をうまく使う】**感じと、**【反省をしている】**感じが浮かんでいきます。この 2 つはイメージ的に、**【一人で時間をうまく使う】**【⇒】**【反省をする】**というつながりをしています。しかも先ほど**空き時間の使**いようで解説したときと同様、**【一人で時間をうまく使わない】**状態も想定しています。なのでこれを if (S)(V)の(S)(V)の中に入れて条件節を作り、**【反省をする】**につなげることにしました。

これは、よく考えてみると、「やる気につながる」、「将来への夢を育ててくれる」も同じ感じです。**【一人で時間をうまく使う】**【⇒】**【やる気がある】**、**【一人で時間をうまく使う】**【⇒】**【将来の夢をもつ】**両方とも、if でつなげる関係です。なので、まず、**【一人で時間をうまく使う】**【反省をす

る】【やる気がでる】【夢をもつ】をそれぞれ文レベルで表現し、最後に if でつなげてみます。

A. **【一人で時間をうまく使う】**

日本語では「それ」に当たる部分がヒントになるかもしれませんが、その前文で書かれていたことです。そのまま訳出してもいいのですが、2 度目なので次のようにすることにしました。

(1) **you do so**

B. 【反省をする】

イメージを膨らませてみると、【仕事のことで、ん～ってなっている】感じがしました。【頭の中でいろいろと浮かべている状態】です。think ですね。

▪ S think about A 「SはAを考える」

です。【考える主体】である S は【一般の人】なので、引き続き、you を使います。【考える内容】である A は、【オフィス内での出来事】が浮かびました。work で十分ですね。【一般的な仕事】について思いをはせるのではなく、その対象は、【その人がした仕事】です。なので、your をつけて、your work としておきます。

(2) you think about your work

「うまく時間が使えたら」という条件付きなので、確実なものではありません。think に will をつけておきます。

(3) you will think about your work

これで十分だとは思いますが、【やる気】までつながるには、think のレベルが高くなければなりません。well や deeply ですね。今回は deeply を使います。位置は(3)の末尾でも think の直後でもどちらでもいいと思います。ここでは後者を採用します。

(4) you will think deeply about your work

C. 【やる気がでる】

イメージを膨らませると、【よっしゃー！ってなっている】のが浮かびます。「【やる気】」がキーになって思いついた人もいます、

▪ S is motivated 「S はやる気がある」

を使ってみます。

(5) S is motivated

【よっしゃー！ってなっている主体】である S には、【一般の人】です。you を入れておきます。これも、「うまく時間が使えたら」という条件付きなので、100%のものではありません。will をつけておきます。

(6) you will be motivated

これで十分だとも思うのですが、【それまでよりも】というニュアンスを表現したいと思い、次のようにしました。

(7) you will be more motivated

D. 【夢をもつ】

「【夢】」というキーワードから、**dream** 関係です。使える表現として、ぱっと浮かんだ、

- **S have a dream 「Sは夢を持つ」**

を使ってみようと思います。【夢を持っている主体】である **S** には、【一般人】が入ります。**you** ですね。B、C.と同じ思考で **will** をつけると次のようになります。

(8) **you will have a dream**

将来の

修飾表現はつながりの語句から始めると便利です。「の」とくれば、

- **of A 「Aの」**

が代表格ですが、ここでは **dream** とのつながり上、

- **for A 「Aに対する」**

を使います。これは、知ってないとなかなか難しいですね。「将来」は、**your future** でも **the future** のように、所有格や **the** をつけるのが一般的です。今回は **the** を付けました。

(9) **you will have a dream for the future**

E. A. + B. + C. + D.

予定通り、**A.** でできた(1) **you do so** を **if (S)(V)** の **(S)(V)** にいれ、主節として、**B. C. D.** を並べます。**if (S)(V)** を主節の前に置いた場合は、カンマで区切るのが通常です。また、3つのものを並べる場合、**A. , B. , and C.** のようにしますよね。**and** の前のカンマはあってもなくてもいいですが、今回はある方を選択します。

(10) **If you do so, you will think deeply about your work, you will be more motivated, and you will have a dream for the future.**

B. C. D. が同じパターンで作られたため、**you will** が重なっています。こういった場合、2番目以降に出ている方を表現せず、ここでいうと **think** と **be** と **have** が並んでいるように見せる方が一般的です。それに従って **C. D.** の **you will** を消していきます。

(11) **If you do so, you will think deeply about your work, be more motivated, and have a dream for the future.**

Model Answer

If you do so, you will think deeply about your work, be more motivated, and have a dream for the future.